



門松を飾る意味を知ると、門松を飾りたくなる

2024年も残り僅かとなってきました。皆さん今年はどうな年だったでしょうか？そろそろ、年賀状や、クリスマス、お正月の準備をしなくちゃいけない頃ですね。と、いう事で、今回は、門松のお話をしたいと思います。

【門松とは？】

門松は一年の幸福をもたらしてくれる「年神様」に、家に来てもらうための目印となる正月飾りです。自分の家に「年神様」が来てくれるように、「松」「竹」「梅」「千両・万両」を添えて飾り付けるものです。

【なぜ「門松」と言うの？】

門松で一番目立つのは竹なのに、なぜ門竹とは言わずに門松と言うのでしょうか？「松」は「永遠のシンボル」を意味しています。さらに「松」は「待つ」と言う言葉を掛けている意味もあるのです。正月にお迎えする「年神様を待つ」という意味があり、主役は「松」なので「門松」を「松飾り」と呼ぶことも多いです。

【「門松」の竹が3本の理由】

「門松」の中央に3本の竹がありますが、なぜ3本なのかというと、3は仲を取り持つ意味の縁起物で、2で割り切れないおめでたい数字なのです。結婚式のお祝いを包むときに2で割り切れない配慮をすることと同様とされています。

【「門松」の「竹」は配置の仕方の意味が変わる】

「門松」の中央に配置されている3本の「竹」にはさらに意味があります。7:5:3の「竹」を配置する仕方意味が変わってきます。3本の「竹」の中で、1番高い「竹」を中央、2番目に高い「竹」を外側、3番目に高い「竹」を内側このように設置する形を「出飾り（でかざり）」といいます。一般家庭で「門松」を飾り付けるときは、「出飾り（でかざり）」がポピュラーで、子供の独立祈願・子供の結婚祈願の気持ちを表しています。「出飾り」と異なり、3本の「竹」の中で、1番高い「竹」を外側、2番目に高い「竹」を内側、3番目に高い「竹」を手前中央に設置する形を「迎え飾り」と言います。百貨店・商業施設などで「お金やお客様が来て欲しい」との願いを込めて飾り付けをします。「迎え飾り」は商売繁盛を祈願する他に、「子宝に恵まれない」など家族が増えることを祈願して飾り付けをし、「迎え飾り」は福を呼び込む意味を表しています。

【門松はいつからいつまで飾るのか】

門松は12月13日の「事始め/松迎え」とされる日から12月28日のどこかで飾るのが良いとされます。近年はクリスマスの飾り付けもありますので12月26日から28日に飾り付けるのが一般的です。これは門松に限らず、正月飾りの松飾り、しめ飾り（輪飾り/玉飾り等）を含めてです。門松は飾り付けてはいけない日があります。それは、年の瀬の29日30日31日です。29日は9という数字から「二重苦」と読めたり、9に門松を立てることを「苦立て」と考えられるから、そして31日は「一夜飾り」と言って、歳神様が宿る依り代になる神聖なものを一晩だけ飾ってお迎えするのは失礼とするという考えや、歳神様は大晦日に来られると考えられるからです。ですので、28日がおすすめです。そしていつまで飾るかということ、元来は全国统一で小正月までとされていました。この門松を飾る期間を松の内と呼びますが、松の内は現在、関東や九州の多くの地域では1月7日、関西やその他多くの地域では1月15日とされています。そのため、多くの場合門松は1月7日か1月15日に片付けることになっています。

門松を飾る意味を知ると、門松を飾りたくなりますよね。年神様をお迎えして益々繁栄の一年になりますように！

郡山市の桜木にある造園屋さん株式会社忠花園さんでは、門松の注文を受け付けています。申し込み期限は「2024年11月25日（月）正午まで」詳しくは、パンフレットをご覧ください～。



FROM-ZERO 通信は弊社のお取引先の皆様へ毎月配布させていただいている情報誌です。



株式会社 オフィスゼロ

〒963-0201 福島県郡山市大槻町字下町128

<http://www.office-0.co.jp/>

TEL 024-962-4709 FAX 024-962-4710



Web サイト スログ